

2024年3月期 第2四半期決算説明

2023年11月9日



目次

連結業績サマリー

第2四半期決算ハイライト

通期業績予想

中期経営計画の進捗情報

サステナビリティへの取り組みについて

<参考> DATA FILE

2024年3月期
第2四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

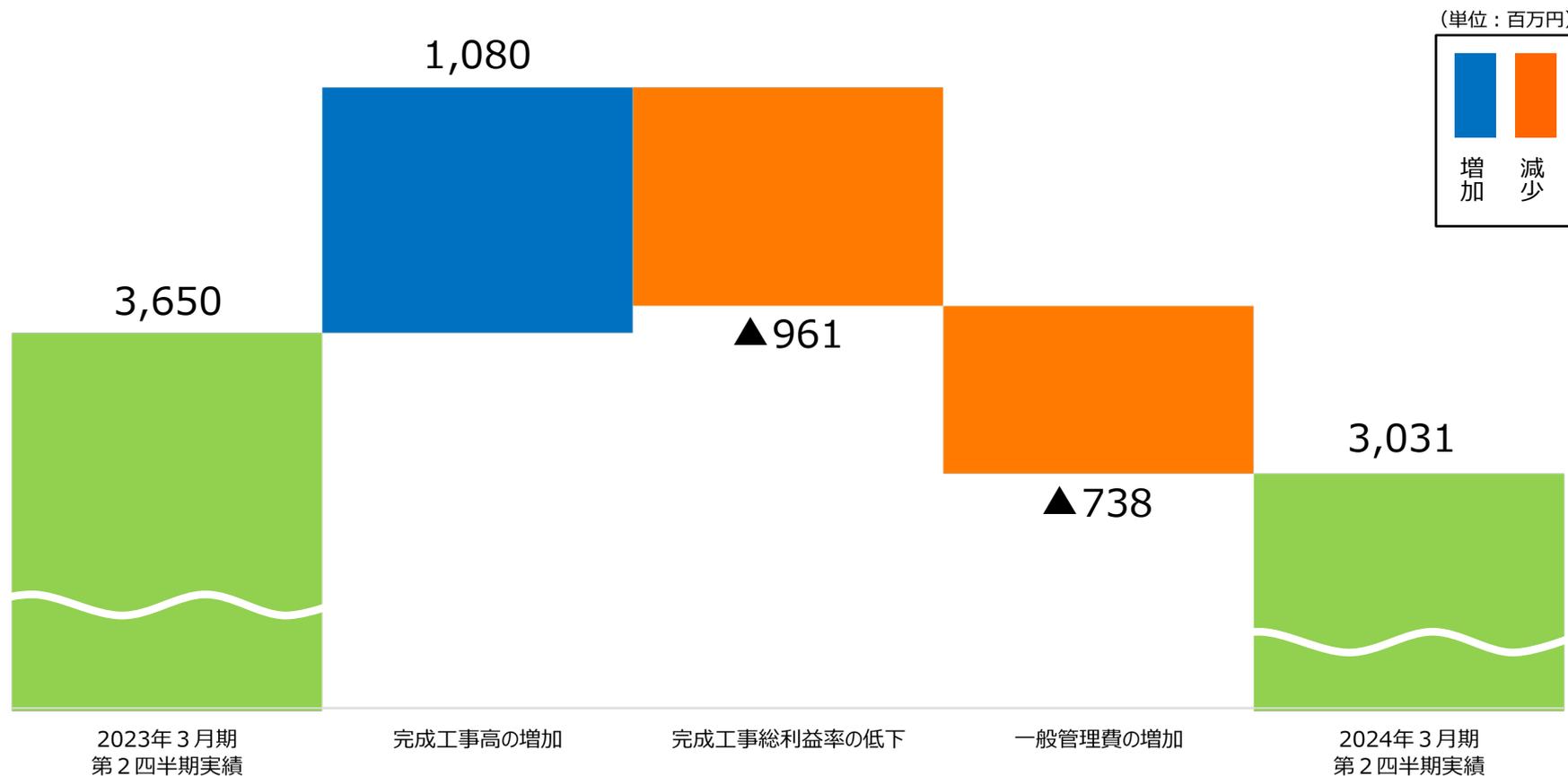
（単位：百万円）

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	163,782	184,158	20,375	12.4%
受注工事高	124,966	128,523	3,557	2.8%
完成工事高	82,690	91,306	8,615	10.4%
完成工事総利益	10,364	10,483	119	1.1%
完成工事総利益率(%)	12.5%	11.5%	▲1.1p	－
営業利益	3,650	3,031	▲618	▲16.9%
営業利益率(%)	4.4%	3.3%	▲1.1p	－
経常利益	4,330	3,595	▲735	▲17.0%
経常利益率(%)	5.2%	3.9%	▲1.3p	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,045	2,411	▲633	▲20.8%
四半期利益率(%)	3.7%	2.6%	▲1.0p	－

事業環境及び当社の概要

- 受注工事高は、産業施設、大阪万博関連施設等を中心に大型工事の受注が確保できた結果、増加しました。
- 前期からの繰越工事が大型一般工事を中心に増加したことを受け、完成工事高は増加しました。一方、特定の工事における採算の悪化により、完成工事総利益率は低下しました。
- 完成工事総利益は前期比で増加したものの、一般管理費において「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」、「新規事業や施工効率化のための研究開発費及び減価償却費」、「近年の業容拡大に伴う採用数及び事業活動費」の費用がそれぞれ増加したことなどを受け、営業利益は減益となりました。

連結営業利益増加の内訳



- 完成工事高は、前期からの豊富な繰越工事が順調に進捗したことにより大幅に増加しました。
- 完成工事総利益率は、特定の工事において採算が悪化したことに伴い、低下しました。
- 一般管理費は前ページの通り、前期比で増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率
受注 工事高	電気工事	18,647	23,735	5,088	27.3%
	管工事	106,318	104,787	▲1,531	▲1.4%
	合計	124,966	128,523	3,557	2.8%
完成 工事高	電気工事	13,970	14,269	299	2.1%
	管工事	68,720	77,036	8,316	12.1%
	合計	82,690	91,306	8,615	10.4%
繰越 工事高	電気工事	28,140	28,791	651	2.3%
	管工事	177,917	192,583	14,666	8.2%
	合計	206,057	221,375	15,317	7.4%

- 受注工事高は、電気工事における物流施設、研究所、工場などの大型工事の受注により、増加しました。
- 完成工事高は、産業施設や空港などの大型工事及び海外のリゾート施設の熱源工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 繰越工事高は、前期からの繰越額及び医療関連施設、再開発、産業施設などの大型工事の受注により、増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

(単位：百万円)

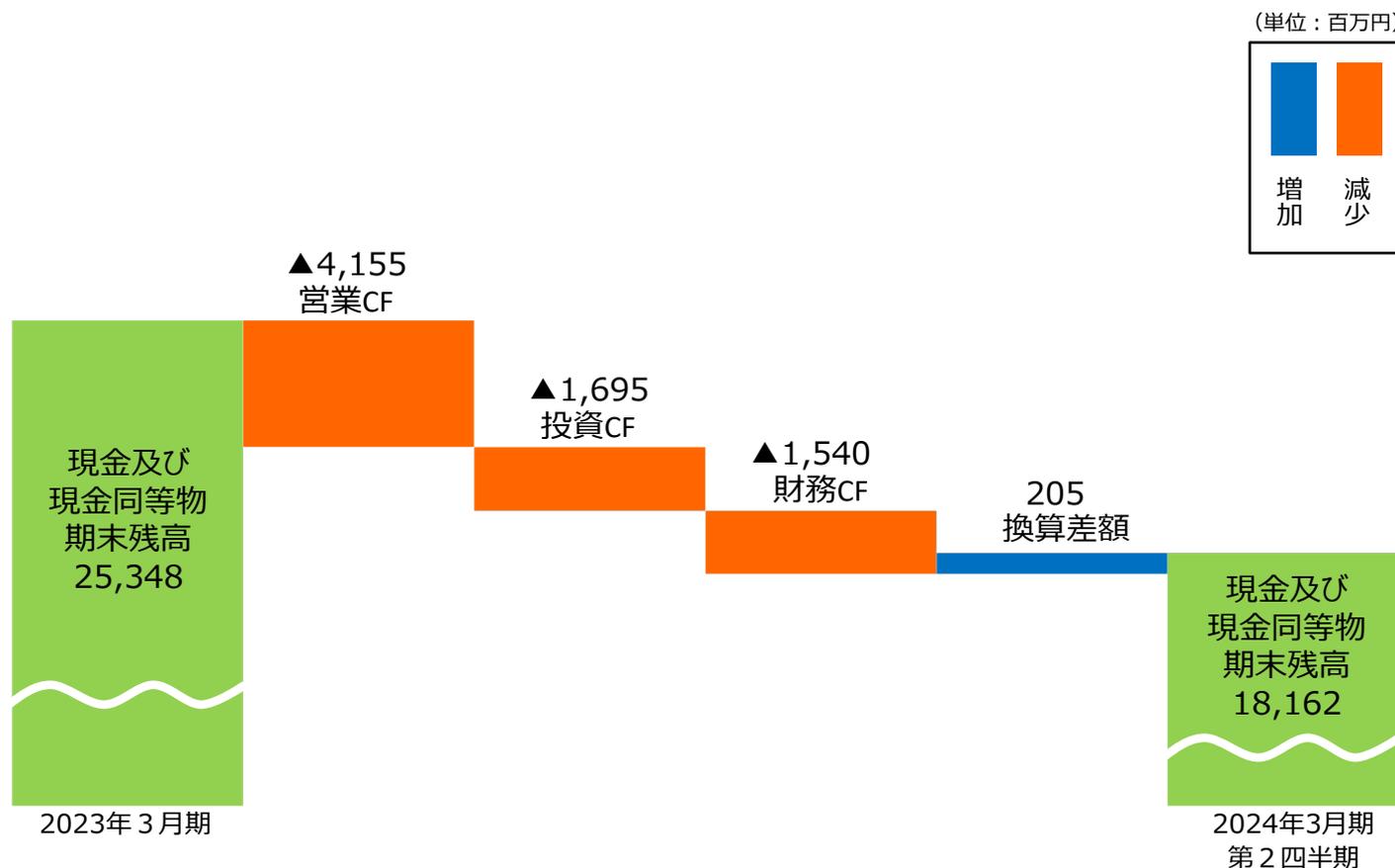
	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	82,424	85,082	2,657	3.2%	利益剰余金の増加
総資産	148,544	146,498	▲2,045	▲1.4%	前期計上の債務の支払が進んだため
1株当たり純資産 (BPS)	※1,920.67円	※1,979.89円	59.23円	3.1%	※ (参考) 2023年3月 株価終値：1,184円 2023年9月 株価終値：1,485円
株価純資産倍率 (PBR)	0.62倍	0.75倍	—	—	※10月1日付で行いました株式分割後の 株価を記載しております。 詳細はP.18をご参照下さい。
自己資本比率	55.4%	57.9%	2.5p	—	—

連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	8,509	▲4,155	▲12,664	—	工事原価の支払いの先行
投資活動によるCF	▲686	▲1,695	▲1,008	—	新潟支店の建替、オフサイト施設の建設
財務活動によるCF	▲1,494	▲1,540	▲46	—	配当金の支払
現金及び現金同等物の期首残高	16,037	25,348	9,310	58.1%	—
現金及び現金同等物の増減額	6,621	▲7,185	▲13,807	—	—
現金及び現金同等物 四半期末残高	22,659	18,162	▲4,496	▲19.8%	—

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）



- キャッシュフローの内訳は、営業CF（工事原価の支払いの先行）、投資CF（新潟支店の建替、オフサイト施設の建設）、財務CF（配当の支払）それぞれの要因により、減少しております。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。

2024年3月期
第2四半期決算

第2四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前年同期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
リニューアル工事	49,121	34,569	83,691	41,737	▲7,384	▲15.0%
リニューアル比率(%)	39.3%	42.5%	40.6%	32.5%	▲6.8p	—
大規模・中規模 の改修工事	23,578	15,440	39,018	18,626	▲4,952	▲21.0%
小規模 の改修工事	25,543	19,129	44,673	23,111	▲2,431	▲9.5%
一般工事	75,844	46,801	122,646	86,785	10,941	14.4%
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	3,557	2.8%
うち、直接受注	55,333	34,959	90,293	49,358	▲5,975	▲10.8%
直接比率(%)	44.3%	43.0%	43.8%	38.4%	▲5.9p	—
うち、官庁工事	12,381	7,449	19,830	18,097	5,716	46.2%
官庁比率(%)	9.9%	9.2%	9.6%	14.1%	4.2p	—

- リニューアル工事は、受注拡大に向け、一般工事の受注に注力したことにより減少しました。
- 一般工事は、産業施設及び娯楽施設などの受注により増加しました。
- 直接受注は、前期の海外大型案件受注の反動により減少しました。
- 官庁工事は、大型案件の受注により大幅に増加しました。

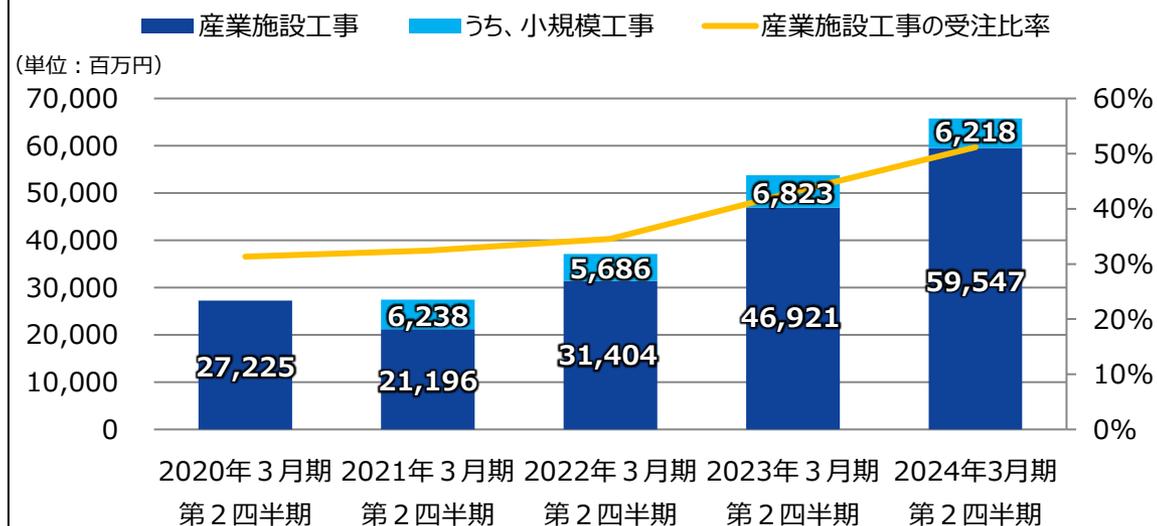
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
産業施設工事合計	53,744	37,436	91,181	65,764	12,019	22.4%
(受注比率%)	43.0%	46.0%	44.2%	51.2%	8.2p	—
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	3,557	2.8%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

産業施設工事の受注工事高の推移



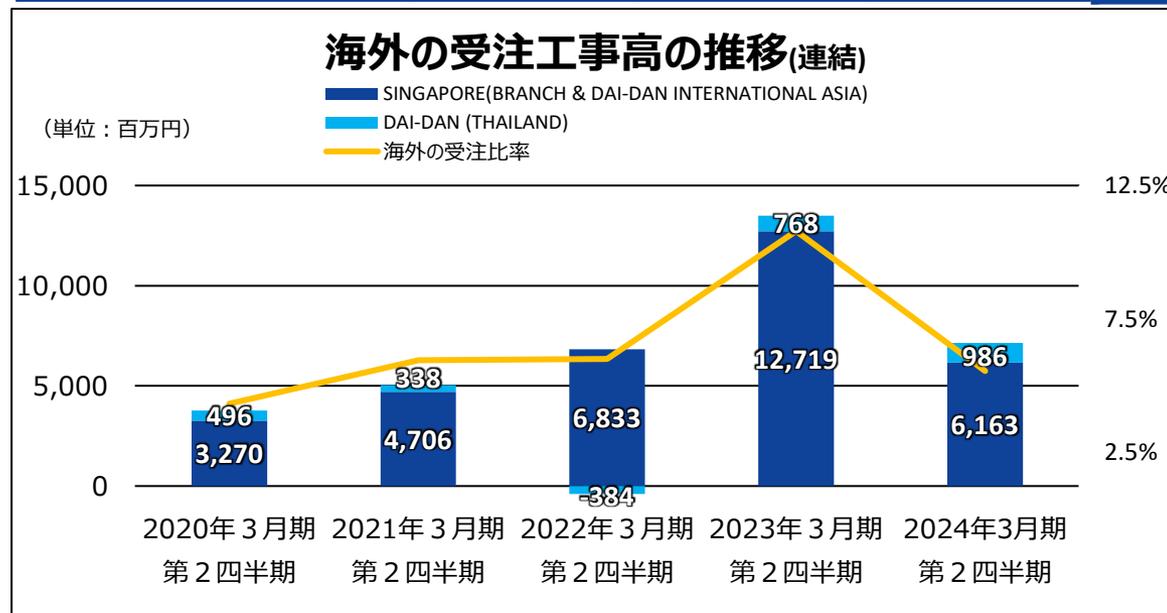
- 上半期は製薬工場を中心に産業施設工事の受注が大幅に拡大し、過去最高であった前期を大きく上回る状況で、受注工事高全体に占める割合が初めて50%を超えました。
- 下半期も大型の半導体工場や自動車用電池工場の受注を予定しており、引き続き産業施設工事の受注は拡大する状況です。

海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、及びDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN (THAILAND) Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN (VIETNAM) Co.,LTD.（非連結））及び台湾（台湾大暖股份有限公司（非連結））を拠点に活動しています。
- 2023年2月にはシンガポールのPresico社(Presico Engineering Pte.Ltd.)の株式の40%を取得し、同社を持分法適用関連会社としております。

（単位：百万円）

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	13,486	6,904	20,390	7,149	▲6,337	▲47.0%
（受注比率%）	10.8%	8.5%	9.9%	5.6%	▲ 5.2p	—
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	3,557	2.8%

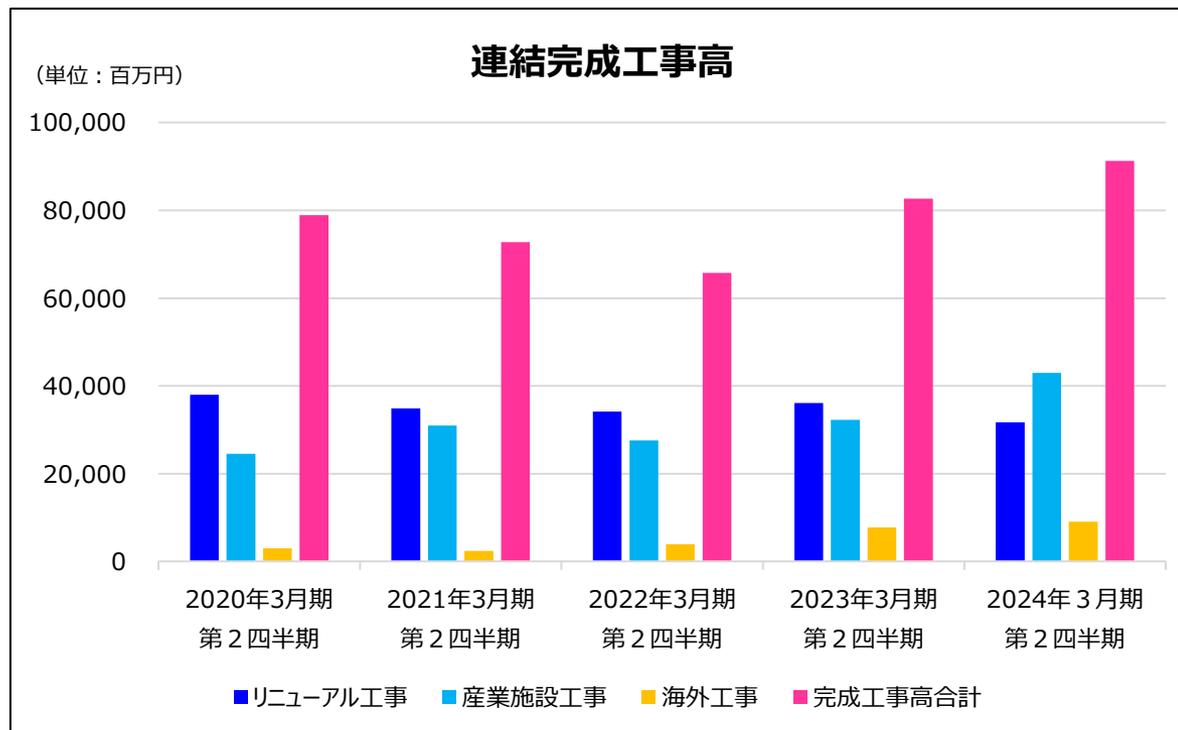


- シンガポールは、受注予定の大型プロジェクトの数が、第3四半期にずれ込んだため、減少しました。
- タイは、工場の受注が昨年以上に好調で、増加しました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	82,690	100.0%	91,306	100.0%	8,615	10.4%
うち (リニューアル工事)	36,092	43.6%	31,698	34.7%	▲4,393	▲12.2%
(産業施設工事)	32,305	39.1%	42,983	47.1%	10,678	33.1%
(海外工事)	7,794	9.4%	9,040	9.9%	1,245	16.0%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

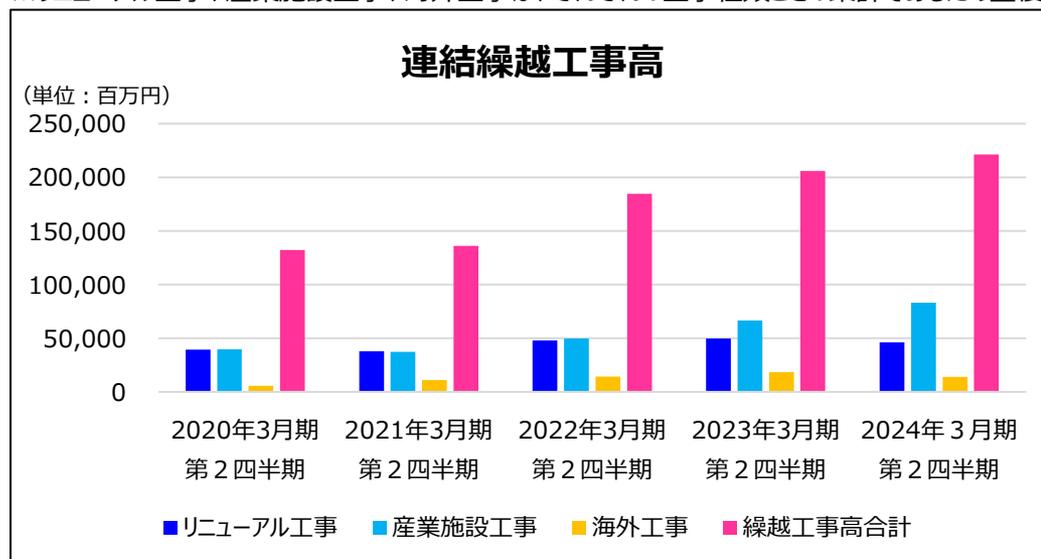


- リニューアル工事は、小規模案件は増加したものの、受注拡大に向け、一般工事の受注に注力した反動により減少しました。
- 産業施設工事・海外工事は、主に工場やデータセンターの大型工事が進捗したことにより増加しました。
- 上記のほかにも空港や再開発案件の進捗により増加しました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	163,782	-	184,158	-	20,375	12.4%
受注工事高	124,966	-	128,523	-	3,557	2.8%
完成工事高	82,690	-	91,306	-	8,615	10.4%
繰越工事高	206,057	100.0%	221,375	100.0%	15,317	7.4%
うち (リニューアル工事)	49,925	24.2%	46,341	20.9%	▲3,584	▲7.2%
(産業施設工事)	66,699	32.4%	83,348	37.7%	16,648	25.0%
(海外工事)	18,531	9.0%	14,105	6.4%	▲4,425	▲23.9%
うち下期完成予定	80,256	-	86,003	-	5,746	7.2%
うち来期以降完成予定	125,801	-	135,372	-	9,571	7.6%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期の繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回り、前期と比べ増加しました。
(過去5年で最高水準)
- 医療関連施設や産業施設工事などの大規模案件を中心に、今後の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えております。
- 物価上昇による資機材価格及び人件費高騰の影響が、この1年において**受注請負額に転嫁される動きが高まってきました。**
- 上記の価格転嫁を受け、**下期完成工事において、予定利益は前期比で増加する見込みです。**

(単位：百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	66,712	67,005	292	0.4%
	7～9月	58,253	61,518	3,265	5.6%
	4～9月	124,966	128,523	3,557	2.8%
完成工事高	4～6月	35,342	40,731	5,389	15.2%
	7～9月	47,348	50,574	3,226	6.8%
	4～9月	82,690	91,306	8,615	10.4%
営業利益	4～6月	818	691	▲126	▲15.5%
	7～9月	2,832	2,340	▲492	▲17.4%
	4～9月	3,650	3,031	▲618	▲16.9%

- 4～6月の業績につきましては、産業施設、医療関連施設を中心に大型工事の受注が確保できた結果、前期並みの水準で好調に推移しました。前期からの繰越工事は大型一般工事を中心に順調に進捗したことにより、完成工事高は増加しましたが、一般管理費の増加を受けた結果、営業利益は減益となりました。
- 7～9月の業績につきましては、産業施設、大阪万博関連施設等の大型工事の受注により、受注工事高は前期比で増加しました。引き続き手持ち工事が順調に進捗したことにより、完成工事高は増加しましたが、特定の工事における工事採算の悪化及び一般管理費の増加を受けた結果、営業利益は減益となりました。(一般管理費の増加はP.4の通り)

2024年3月期
第2四半期決算

2024年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前期対比 通期	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期 (予想)	通期 (予想)	増減	増減率
受注工事高	124,966	81,371	206,337	128,523	111,477	240,000	33,663	16.3%
完成工事高	82,690	103,271	185,961	91,306	108,694	200,000	14,039	7.5%
完成工事総利益	10,364	12,260	22,624	10,483	13,917	24,400	1,776	7.9%
完成工事総利益率(%)	12.5%	11.9%	12.2%	11.5%	12.8%	12.2%	0.0p	—
営業利益	3,650	4,778	8,428	3,031	5,469	8,500	72	0.9%
営業利益率(%)	4.4%	4.6%	4.5%	3.3%	5.0%	4.3%	▲ 0.3p	—
経常利益	4,330	4,958	9,288	3,595	5,305	8,900	▲ 388	▲ 4.2%
経常利益率(%)	5.2%	4.8%	5.0%	3.9%	4.9%	4.5%	▲ 0.5p	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,045	3,581	6,626	2,411	4,089	6,500	▲ 126	▲ 1.9%
当期純利益率(%)	3.7%	3.5%	3.6%	2.6%	3.8%	3.3%	▲ 0.3p	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	—	—	8.3%	—	—	7.7%	▲ 0.6p	—

業績予想の前提

- 受注工事高は、4ページの通り、上半期で受注が堅調に推移したこと、さらに下半期は大型の半導体工場や自動車用電池工場の受注を予定していることなどにより、通期予想を上方修正いたします。(210,000百万円→240,000百万円)
- 収益面では、当第2四半期は前期と比べ増収減益となりましたが、14ページの通り当期完成予定の繰越工事は増加し、予定利益も増加する見込みであることから、通期業績予想については直近の公表から変更はありません。

株式分割について

当社は、2023年8月4日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月1日付で株式分割を行いました。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、市場流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2023年9月30日（土）（当日は休日扱いとなるため、株主名簿記載の株主の確定は実質的に2023年9月29日（金））を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	22,981,901株
今回の分割により増加する株式数	22,981,901株
株式分割後の発行済株式総数	45,963,802株
株式分割後の発行可能株式総数	80,000,000株

③分割の日程

基準日公告日:2023年9月14日（木）、基準日:2023年9月30日（土）、効力発生日:2023年10月1日（日）

配当予想について

- 日頃から当社を支援頂いている株主の皆さまに対する利益還元のより一層の充実を図るべく、2024年3月期の1株当たりの期末配当金につきましては、8月4日に公表いたしました通り、株式分割前の株式1株あたり55円より5円増配し、株式分割前の株式1株あたり60円（分割後30円）を予定しております。

	年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第2四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	45.00	45.00	90.00	1,935	33.3%	2.5%
2023年3月期	45.00	55.00	100.00	2,150	32.3%	2.7%
2024年3月期（予想） （株式分割前換算）	55.00	30.00 (60.00)	— (115.00)	—	37.9%	—

株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めております。
- 株主への更なる利益還元を進めるため、2024年3月期より配当性向35%（従来は30%）以上を新たな配当方針としております。

自己株式取得について

- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

2024年3月期
第2四半期決算

中期経営計画の 進捗状況

〈整えるステージ〉 FY2021-2023

- 長期ビジョン2030に向け、国内外の基盤を整備強化する《整えるステージ》です。
- 連結売上高の拡大に向けて、新規事業にもチャレンジし、グループ体制を整えます。
- 『空間価値創造企業』を目指し、広くお客さまに価値を届けていきます。

事業戦略	《整えるステージ》の戦略 FY2021-2023	施策の実施状況
基幹事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業施設工事の拡大 ・ ストックビジネスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子デバイス工場、データセンターなど大型化が進む産業施設への技術者の適正配置 ・ 子会社と連携した積極的な保守メンテナンスの受注による顧客囲い込み
海外事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外展開の統括基盤整備 ・ 新規拠点の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各プロジェクトの営業、技術提案、品質管理を国内の本部が支援 ・ 一昨年度新規進出したベトナムにおいてコロナ禍でのリモート営業を強化
技術力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場力の強化 ・ ZEB & IoT事業の拡大 	<p>「サステナビリティへの取り組み」にて詳細説明</p>
新規事業の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生医療の実用化への貢献 ・ 環境負荷低減ビジネスの推進 	

中期経営計画 《整えるステージ》数値目標

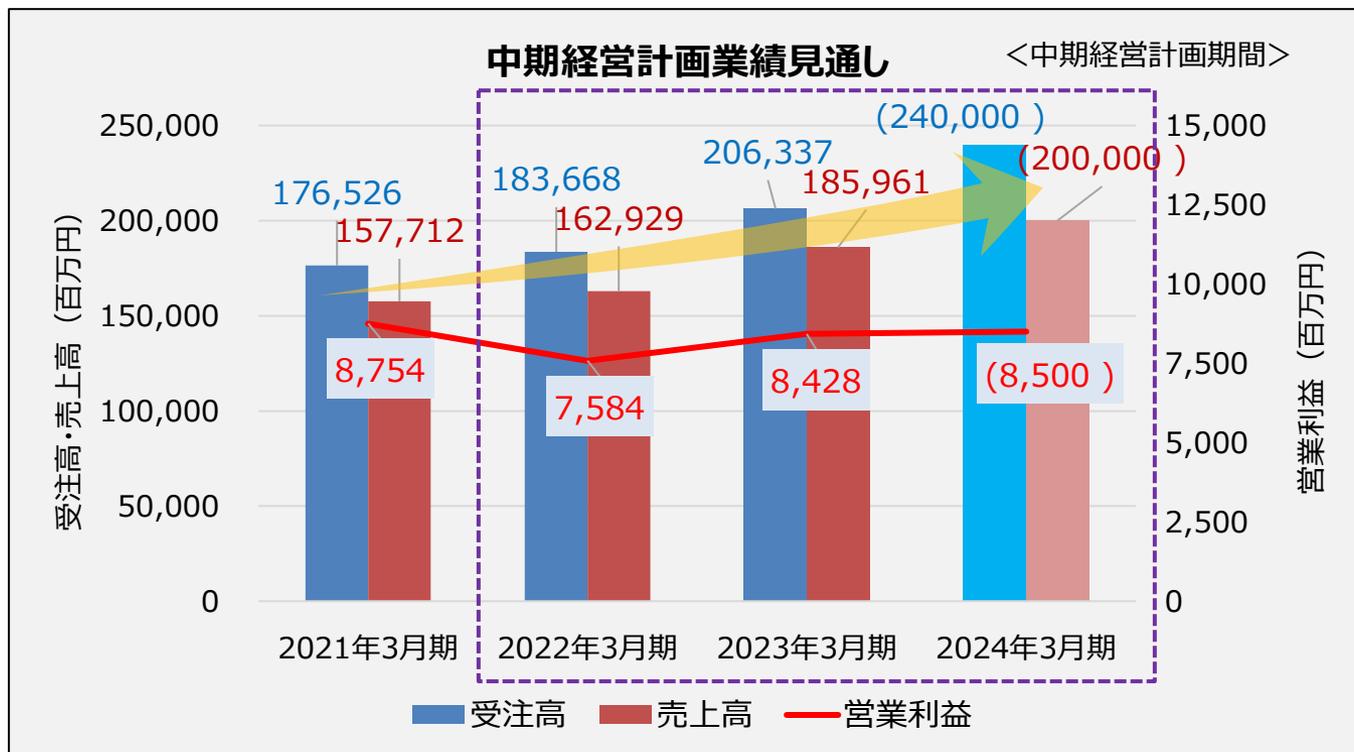
項目	2023年3月期 実績	整えるステージ 2024年3月期目標	2024年3月期 見通し
連結売上高	1,859億円	2,000億円 連結子会社比率UP	2,000億円
連結営業利益	84億円	100億円	85億円
ROE	8.3%	8%以上	7.7%
配当性向	32.3%	30%以上	35%以上
投資計画 ※3期累計	DX推進（施工現場・働き方改革） 企業グループ強化 新規事業・研究開発 など	200億円	

＜資本コスト、株価を意識した経営の実現について＞

- 財務健全性を維持しつつ、トップラインを拡大し、資本コストを上回る収益の獲得を目指しています。
- 2024年4月から始まる新中期経営計画の公表を予定しています。

- 中期経営計画《整えるステージ》は、目標達成に向け施策を推進
 - 大型化する工事への対応力を強化し、産業施設や海外など注力分野の受注を拡大することで、最終年度 2024年3月期目標 売上高2,000億円を着実に達成の見通し
 - 受注工事高は2,100億⇒2,400億円に大幅に上振れの予想
 - 安定的に利益を確保するものの、資機材の高騰、および働き方改革推進などで、営業利益は、昨年度と同等の85億円の見通し

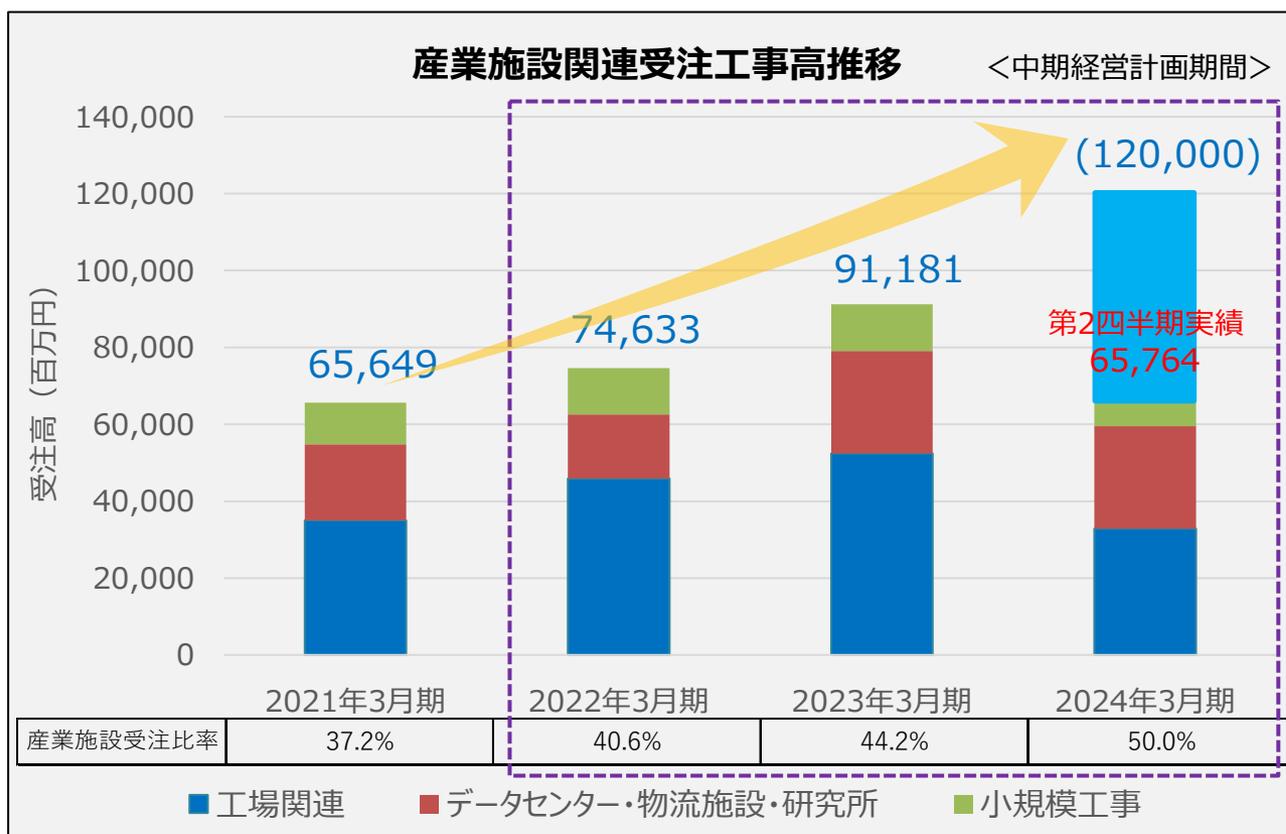
中計前に比べ売上高26%UP



中期経営計画の重要施策 <産業施設工事の拡大>

- 国の支援も受けた半導体関連への投資増により電子デバイス系工場の受注拡大、およびDXやAIの進展によりデータセンターの受注増が顕著
- さらにEVシフトを受けた大型の車載用電池工場も受注が見込まれる
- 産業施設関連の旺盛な設備投資を背景に受注全体に占める比率も50%となり、業績拡大に貢献
- 高度な技術を要する設計・施工の強化策として、産業施設に特化したエンジニアリング事業部を増強

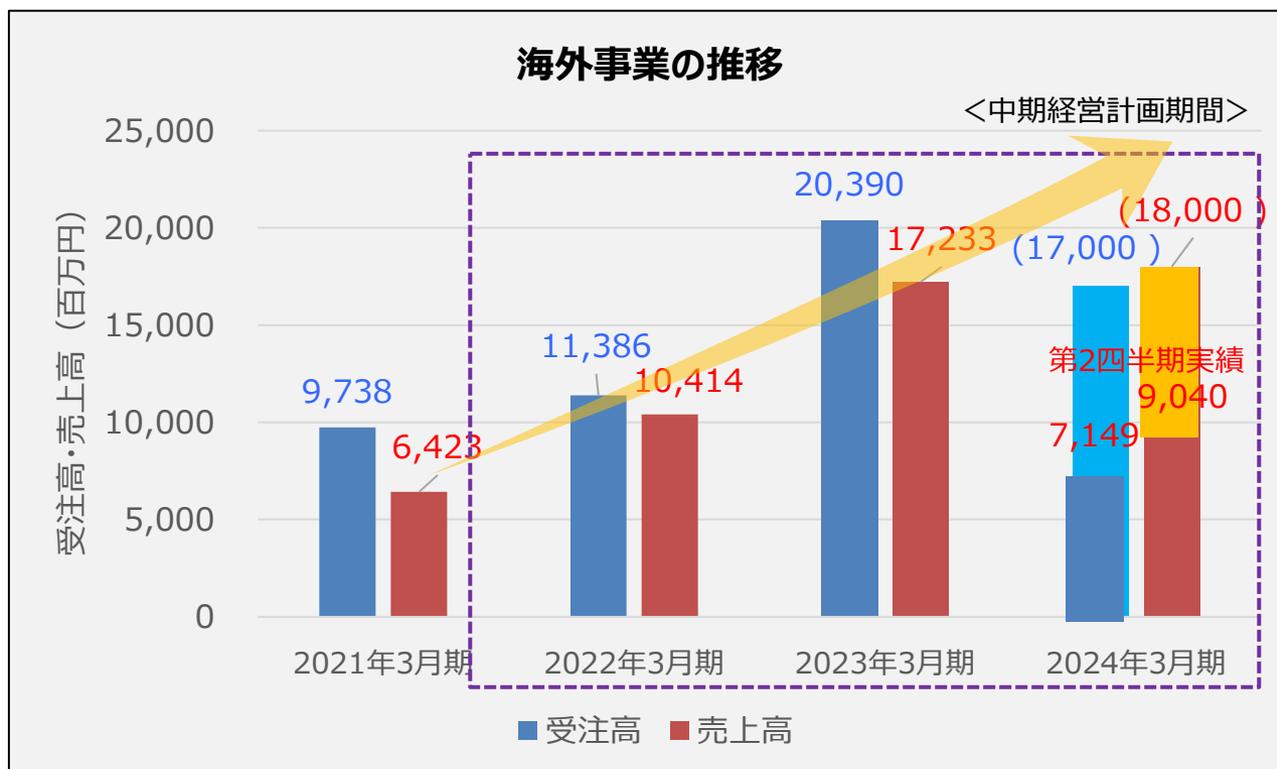
中計前に比べ受注高1.8倍の見通し



中期経営計画の重要施策 <海外事業の強化>

- シンガポール、タイを中心に事業展開しており、2020年10月ベトナムに、2022年4月台湾に現地法人を設立し、海外（東南アジア）での事業拡大を推進
- シンガポールを中心に設備工事業を行うPresico Engineering Pte.Ltd.の株式の40%を取得し、持分法適用関連会社とし利益に貢献
- 中期経営計画期間中は、シンガポール、タイで堅調に受注と売上が拡大

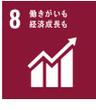
中計前に比べ売上高2.8倍の見通し



2024年3月期
第2四半期決算

サステナビリティへの 取り組みについて

社会課題から新規事業を生み出すCSV事業を目指し、当社技術との親和性が高い地球環境領域とライフサイエンス領域での推進項目を報告

当社のマテリアリティ項目	具体策	SDG s
脱炭素社会への貢献	ZEB関連工事の拡大	 
DXを通じた事業環境の変化への対応	ICT活用技術の現場採用	   
高品質な医療環境の実現	再生医療分野への取り組み	
研究・人材育成を通じたイノベーションと生産性向上	知的財産保有の増大	   
健康・安全に配慮した働きがいのある職場環境	従業員の満足度向上	   
協力会社・サプライヤーとのパートナーシップ	マイスター定着率向上	  



■ 自社ビルのZEB化による脱炭素化の推進

- 脱炭素化とワークエンゲージメント向上環境の両立が評価され**多数の賞**を受賞
ZEBリーディング企業としての社会的評価



《北海道支店》

- 空気調和・衛生工学会振興賞
- 北国の省エネ・新エネ大賞
- 北海道省エネルギー新エネルギー促進大賞
- ウッドデザイン賞2022, など



《北陸支店》

- 日経ニューオフィス賞
- 木の建築賞
- 金沢都市美文化賞
- いしかわ広告景観賞, いしかわ景観大賞
- 照明施設賞
- ウッドデザイン賞2023, など



ZEB**保有**件数 **5**件 (見込み)
《新潟支店nearly ZEB: 今期完成予定》



ZEB**プランニング**件数 **12**件
(見込み)

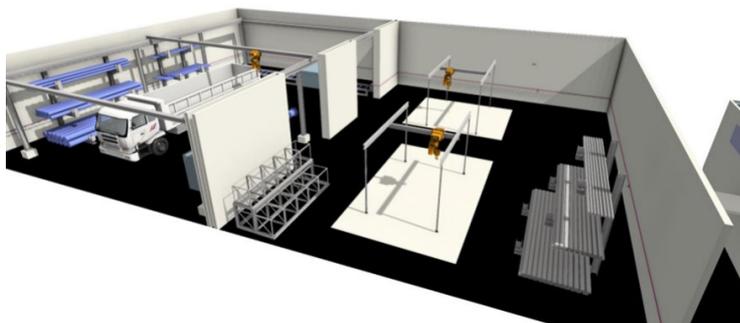
- 今後**改修ZEB**の提案受注も推進
自社ZEBの運用実績分析を活かし、
設備会社が主体となり提案・設計で
きる改修ZEBを伸ばす



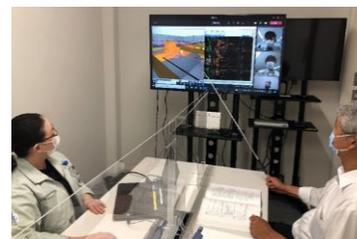
《八戸西健診プラザZEB化改修事業》
クラウド型自動制御システム
リモビスを導入しZEB Readyを達成

プレハブ加工場“オフサイト”拠点の整備

- 首都圏、関西圏にプレハブ加工場の**オフサイト**拠点が稼働
- 更に**北海道、九州**でも整備を開始
- 生産性と施工品質の向上、ならびに現場作業の削減による時短にも貢献



現場サポート部を新設し、支援を更に拡大



支店側の図面レビュー

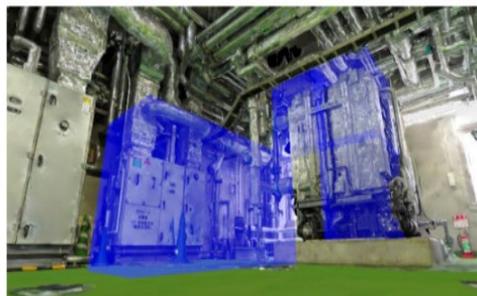


現場での参加状況

- リモート支援チームを**部署**として**拡大**
- 建設現場への本社・支店からの効率的な支援として、工程管理や図面作成など多面的支援を実施
- **働き方改革**（残業規制）の最有力施策、多様な働き方に貢献

Construction Visualizer 4D

現況記録を3Dモデル化
既存図面のない改修物件
でも、**図面作成が容易**、
搬入搬出など工事計画に
活用



昨年度	今年度（上半期）
14件	8件

BIMの推進

設計・施工品質の向上、業務の効率化を図るための重要な施策としてBIMの活用を推進し、大幅に活用が進む。

図面作成だけでなく、**積算**、**資機材発注**、さらに**製品製作**（ダクト、加工管）との**連携**など、BIM活用策の拡大を図る



昨年度	今年度（上半期）
93件	82件

■ 再生医療事業

① 独自の低コストで高品質な細胞加工施設《セラボ殿町》が厚生労働省に承認
【機器・システム販売事業の拡大】

29年度売上目標
3,000百万円

② ベンチャーへの出資を活用したがん治療細胞製造技術の獲得
【細胞製造受託事業を開始】

26年度売上目標
1,000百万円

設備と製造の両面を持つ強みを生かし、両事業の開拓と拡大を推進

23年度売上目標
350百万円

※CPF施工含む

③ 藤田医科大学東京 先端医療研究センターに、
当社独自の細胞加工施設《セラボ羽田》を設置
→実際の細胞加工状況を見学可能
【再生医療で広がる自由診療市場へ参入】



藤田医科大学東京
先端医療研究センター内
《セラボ羽田》

④ 神戸アイセンター病院において、
当社独自の細胞加工施設と
汎用ヒト型ロボットでiPS細胞を使った
網膜再生の臨床研究を実施
【細胞製造の自動化市場へ参入】



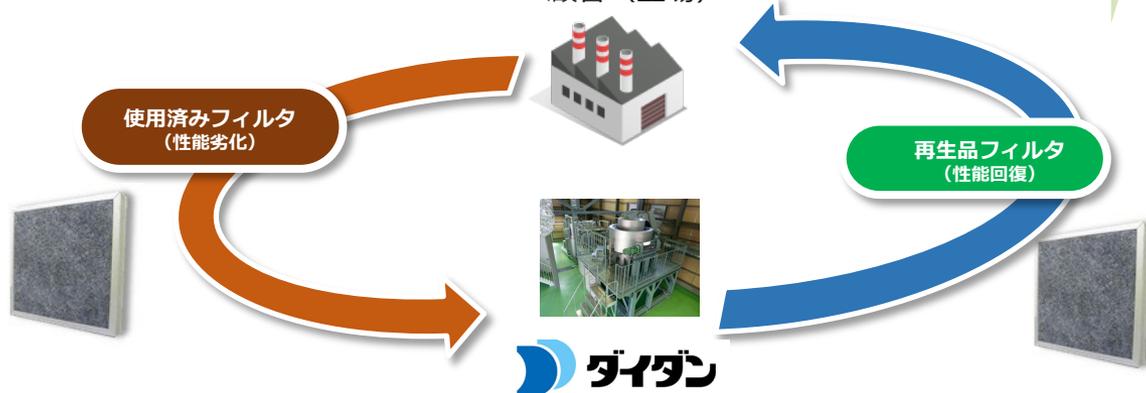
神戸アイセンター病院内 《オールインワンCPユニット》



■ エアフィルタ再生事業

- 当社オンリーワン技術「超臨界CO₂再生技術」を活用したりユースビジネス
- **廃棄物の削減**に貢献するだけでなく、約**30%のCO₂排出削減**効果が見込める脱炭素技術
- 主ターゲットは国内投資が進む**半導体工場**で需要拡大が期待
- フィルタ再生量拡大のため再生プラントを増強
- **台湾**での営業活動を展開し、**テスト洗浄を開始**

顧客（工場）



29年度売上目標

850百万円

26年度売上目標

300百万円

23年度売上目標

75百万円



《増設した超臨界CO₂プラント》

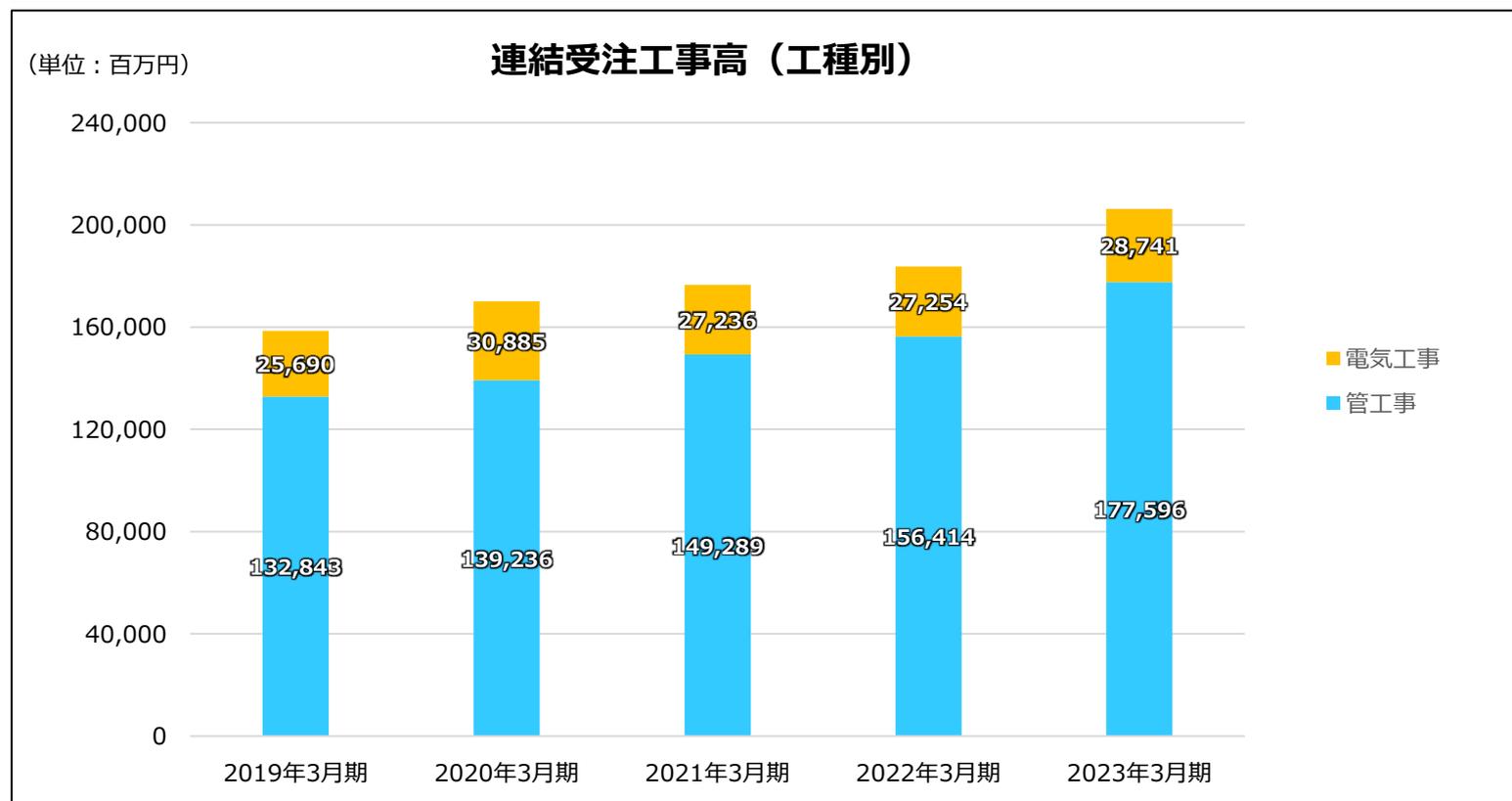


<参考>
DATA FILE
〔通期・第2四半期〕

連結受注工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

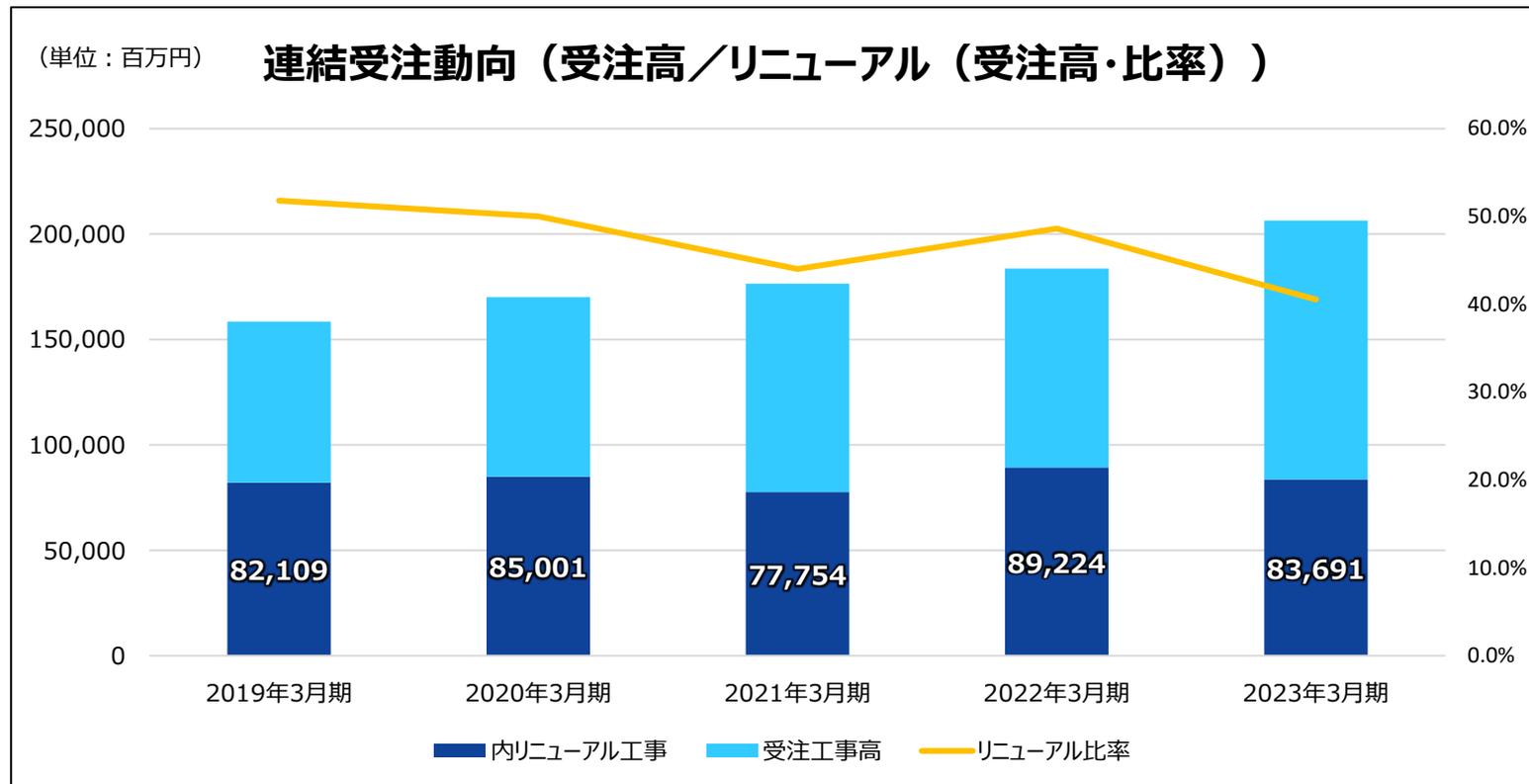
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	25,690	30,885	27,236	27,254	28,741
管工事	132,843	139,236	149,289	156,414	177,596
合計	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

(単位：百万円)

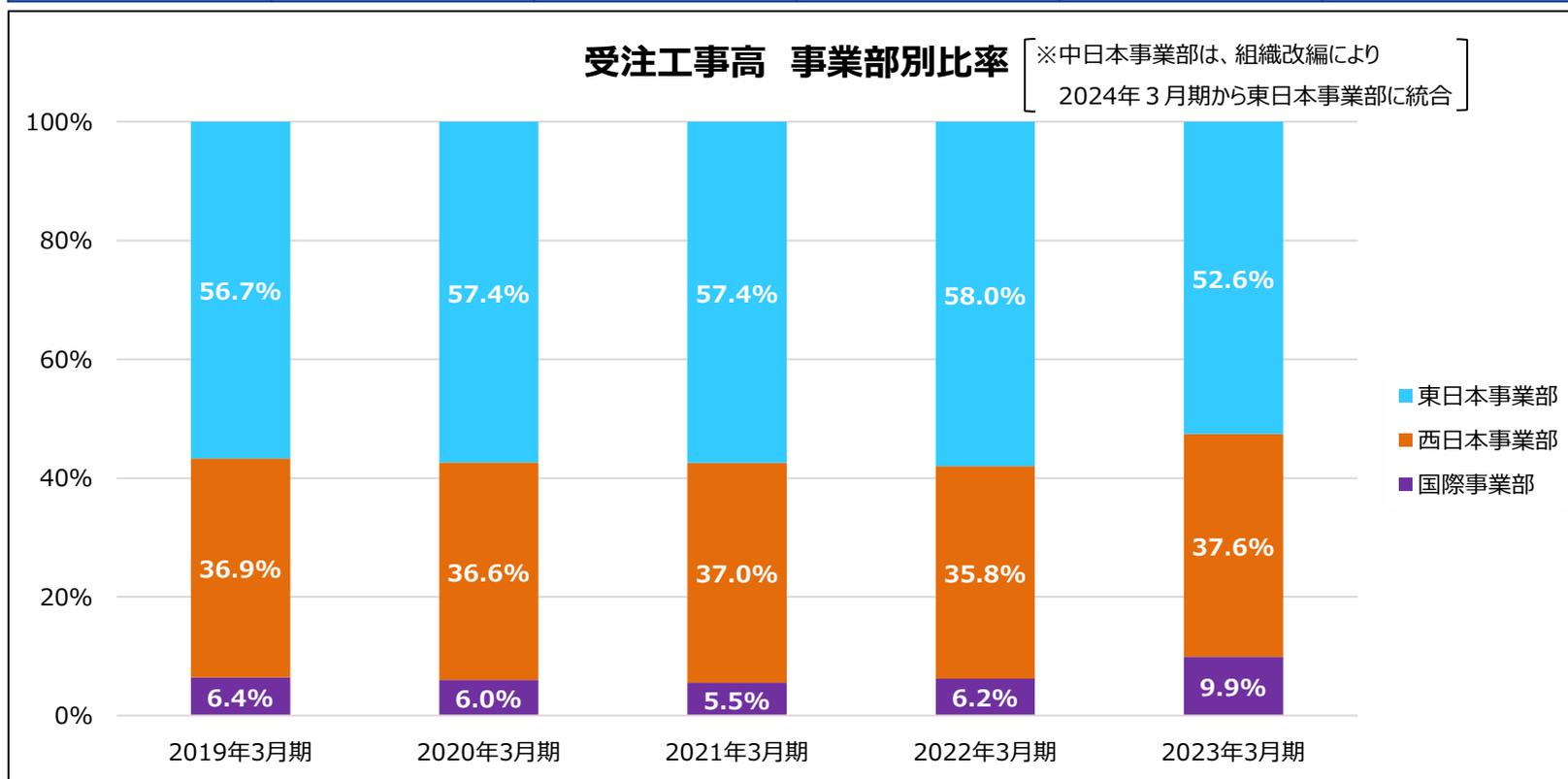
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
受注工事高	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337
リニューアル工事	82,109	85,001	77,754	89,224	83,691
リニューアル比率	51.8%	50.0%	44.0%	48.6%	40.6%



連結事業部別受注工事高比率〔通期〕

受注工事高比率

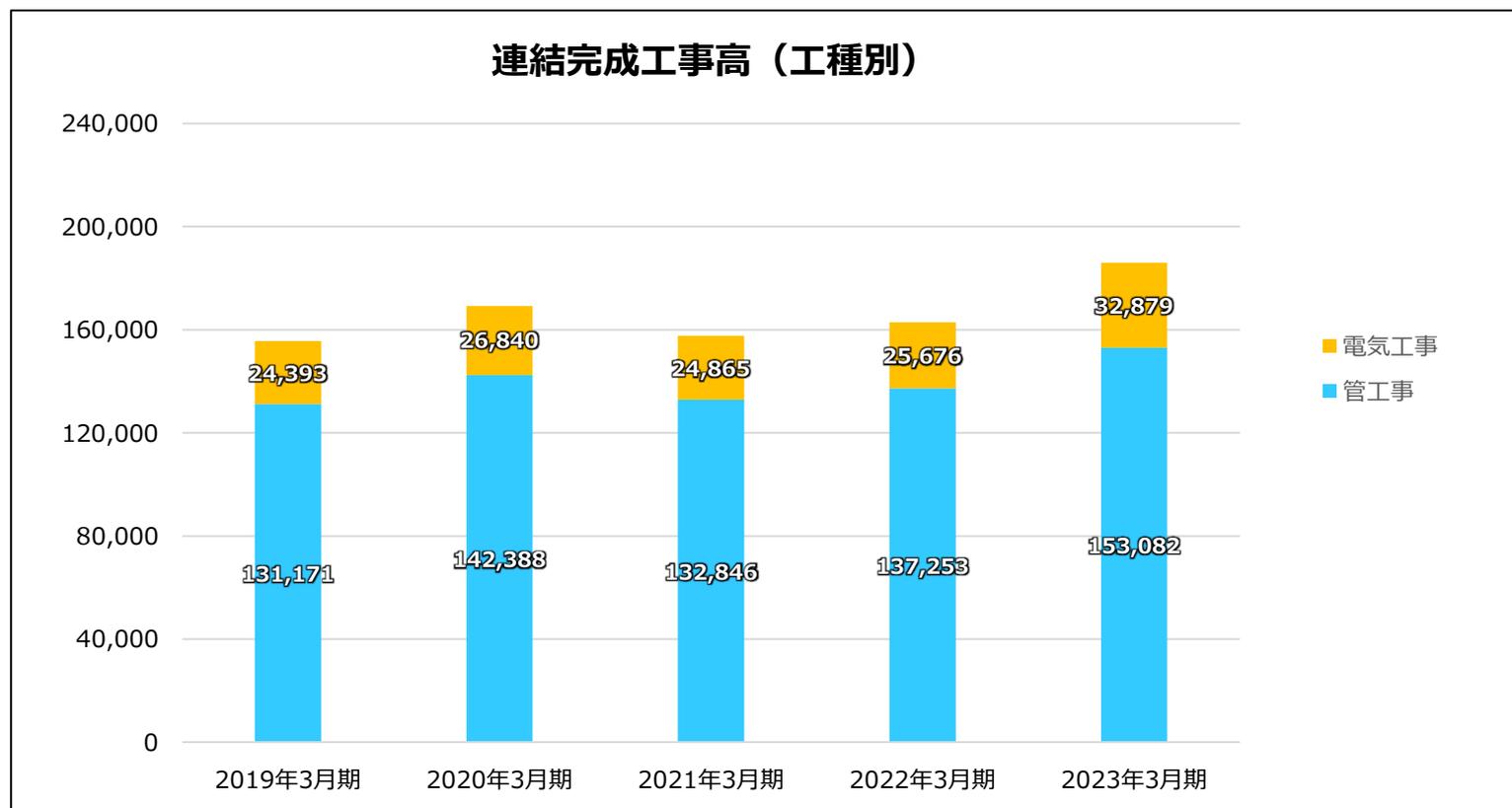
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	56.7%	57.4%	57.4%	58.0%	52.6%
西日本事業部	36.9%	36.6%	37.0%	35.8%	37.6%
国際事業部	6.4%	6.0%	5.5%	6.2%	9.9%



連結完成工事高（工種別）〔通期〕

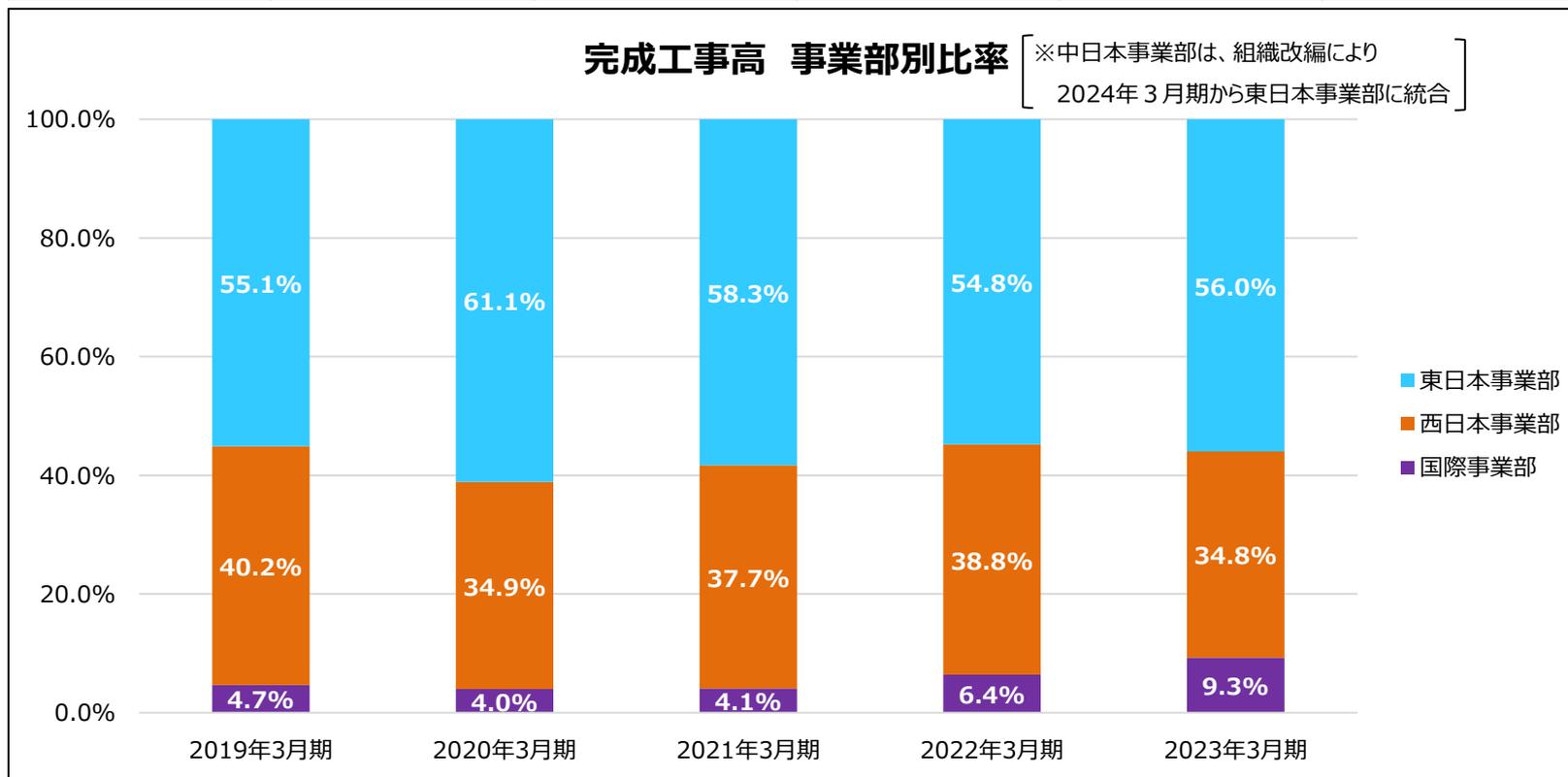
(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	24,393	26,840	24,865	25,676	32,879
管工事	131,171	142,388	132,846	137,253	153,082
合計	155,565	169,229	157,712	162,929	185,961



完成工事高比率

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	55.1%	61.1%	58.3%	54.8%	56.0%
西日本事業部	40.2%	34.9%	37.7%	38.8%	34.8%
国際事業部	4.7%	4.0%	4.1%	6.4%	9.3%



連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
営業利益	7,661	9,063	8,754	7,584	8,428	8,500
経常利益	8,057	9,282	9,262	8,095	9,288	8,900
当期純利益	5,464	6,399	6,318	5,778	6,626	6,500

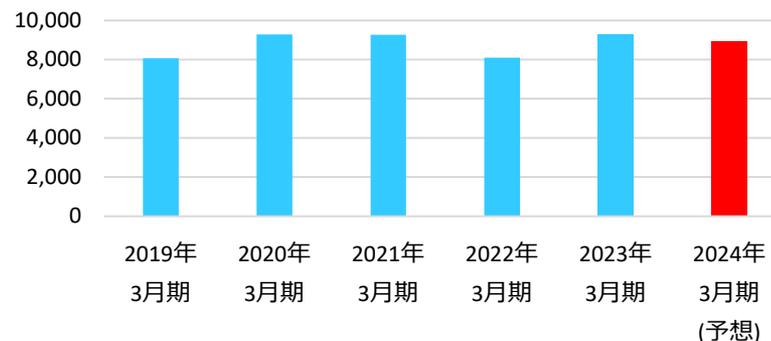
(単位：百万円)

営業利益



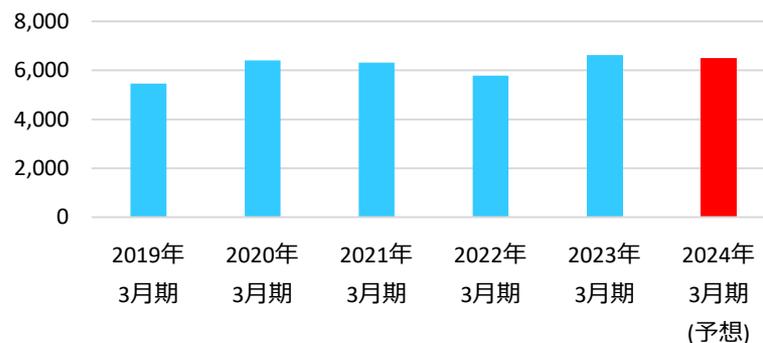
(単位：百万円)

経常利益



(単位：百万円)

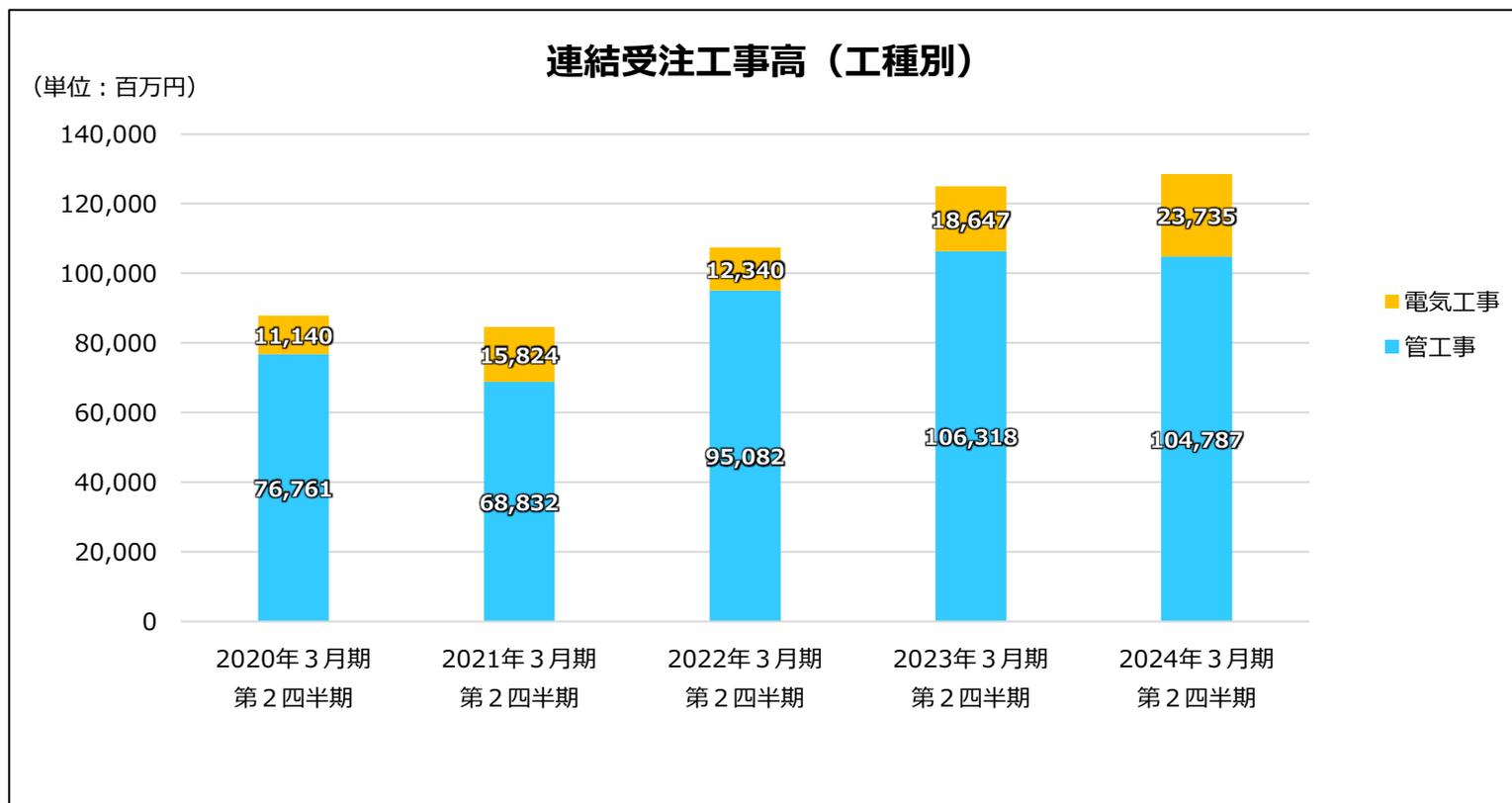
当期純利益



連結受注工事高（工種別）〔第2四半期〕

(単位：百万円)

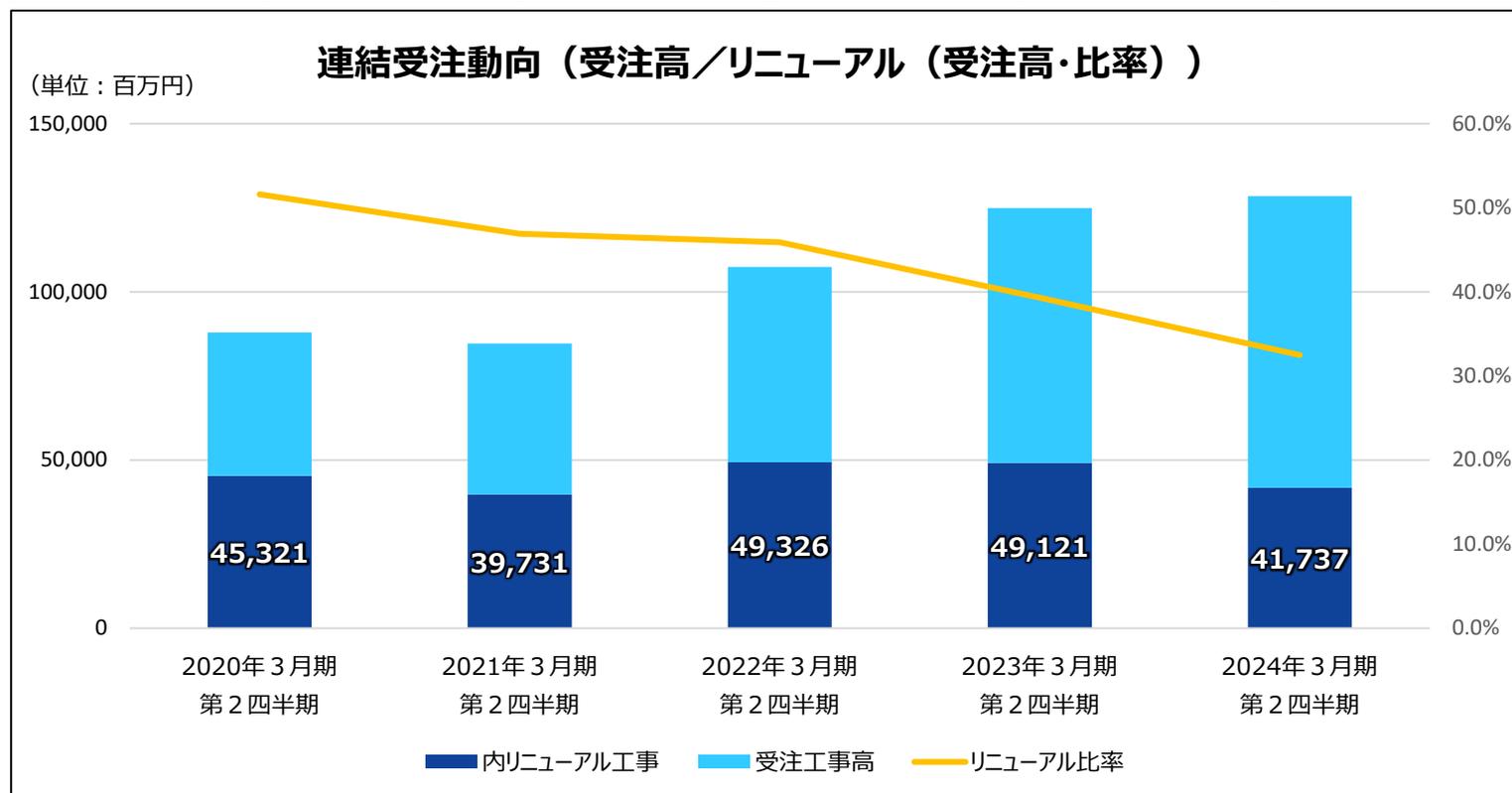
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
電気工事	11,140	15,824	12,340	18,647	23,735
管工事	76,761	68,832	95,082	106,318	104,787
合計	87,902	84,656	107,423	124,966	128,523



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔第2四半期〕

(単位：百万円)

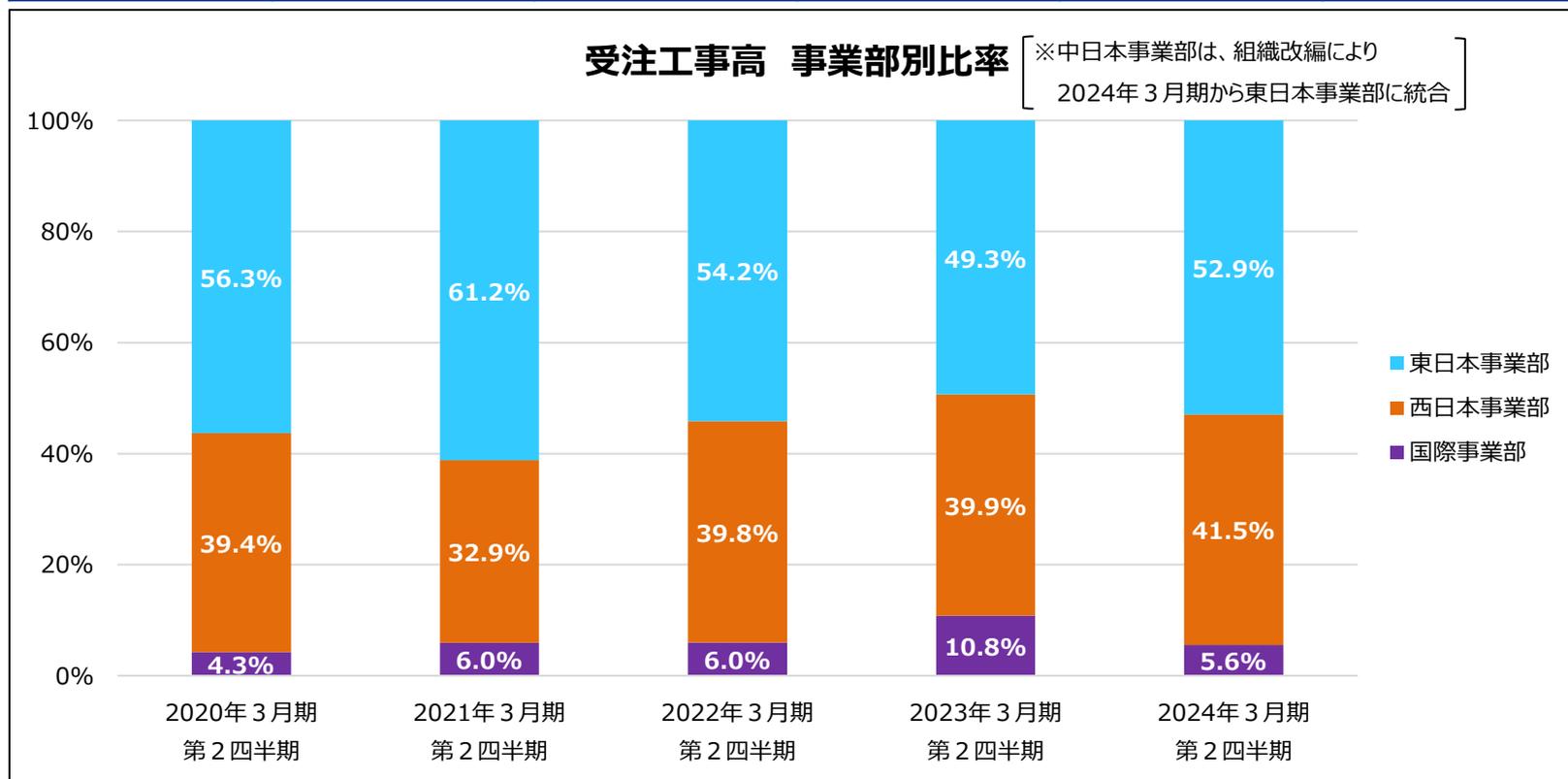
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
受注工事高	87,902	84,656	107,423	124,966	128,523
リニューアル工事	45,321	39,731	49,326	49,121	41,737
リニューアル比率	51.6%	46.9%	45.9%	39.3%	32.5%



連結事業部別受注工事高比率〔第2四半期〕

受注工事高比率

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
東日本事業部	56.3%	61.2%	54.2%	49.3%	52.9%
西日本事業部	39.4%	32.9%	39.8%	39.9%	41.5%
国際事業部	4.3%	6.0%	6.0%	10.8%	5.6%



連結完成工事高（工種別）〔第2四半期〕

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
電気工事	12,029	10,400	10,418	13,970	14,269
管工事	66,888	62,334	55,362	68,720	77,036
合計	78,917	72,734	65,780	82,690	91,306

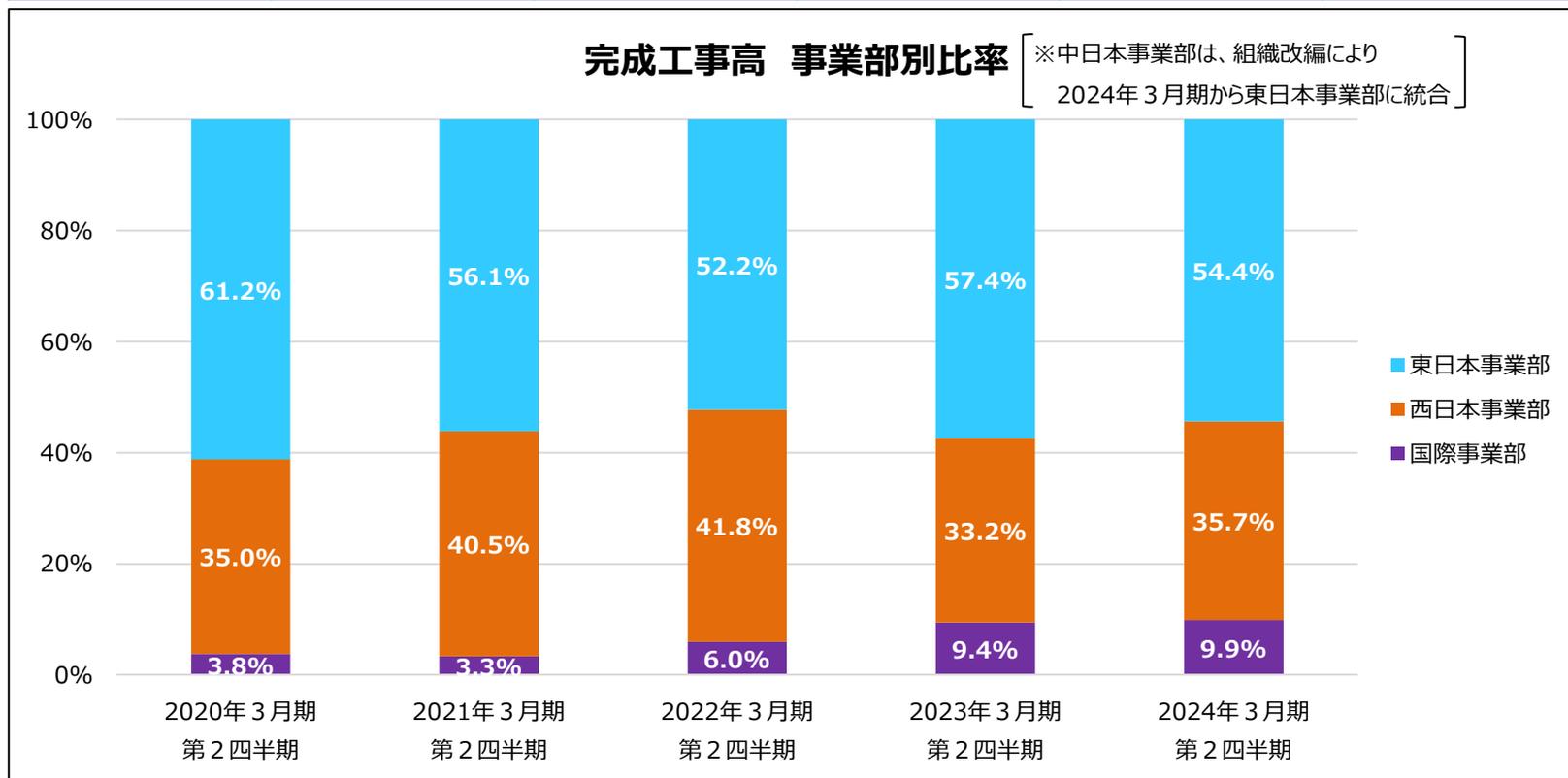
連結工事完工高（工種別）

(単位：百万円)



完成工事高比率

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
東日本事業部	61.2%	56.1%	52.2%	57.4%	54.4%
西日本事業部	35.0%	40.5%	41.8%	33.2%	35.7%
国際事業部	3.8%	3.3%	6.0%	9.4%	9.9%

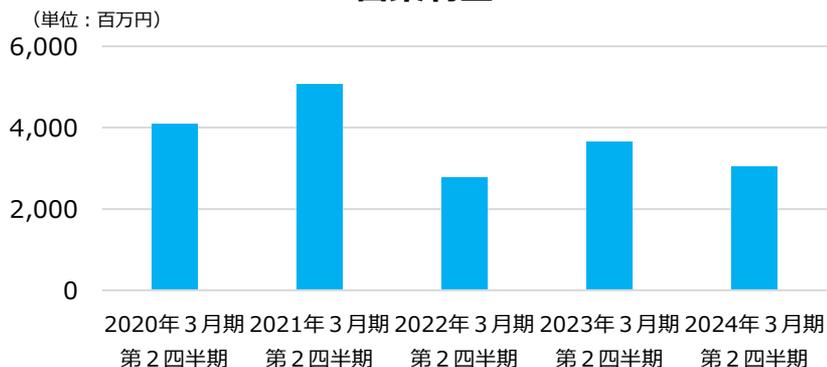


連結業績利益（営業／経常／四半期）〔第2四半期〕

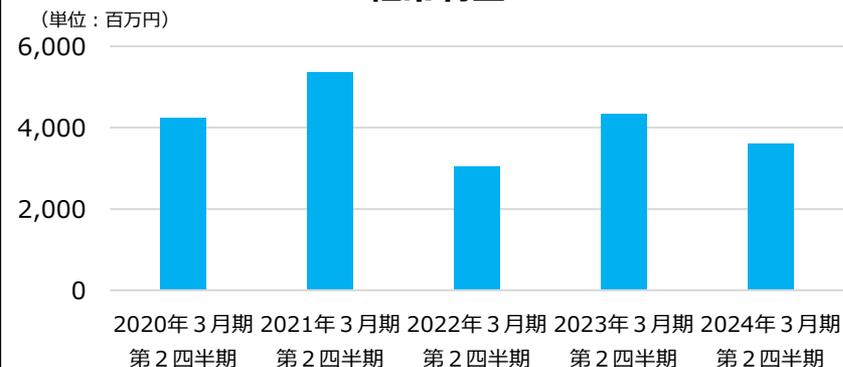
(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
営業利益	4,091	5,070	2,768	3,650	3,031
経常利益	4,230	5,366	3,044	4,330	3,595
四半期純利益	2,897	3,654	2,077	3,045	2,411

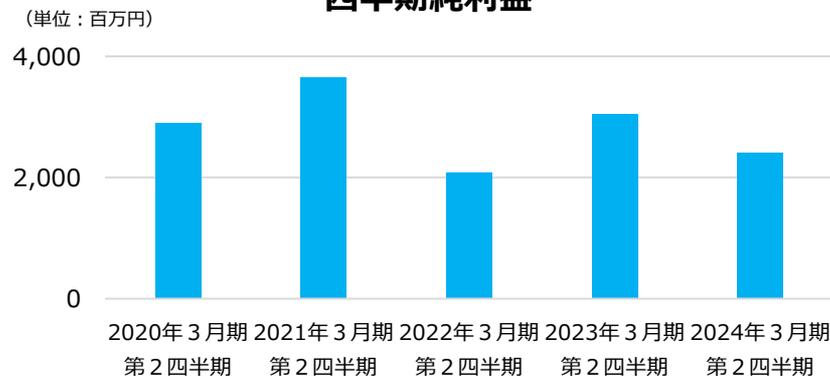
営業利益



経常利益



四半期純利益





お客様とともに、これからも

免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10